

ばらの丘通信

No.20 2013年12月1日
社会福祉法人つちや社会福祉会



毎日楽しく過ごしています!つちやホームの紹介です...



月に一度、手芸の好きな方が集まり、色々な作品を作ってきました。クリスマスには、松ぼっくりや、木の実を飾ったリース。共同作品では、ヨーヨーの形を繋ぎ合わせたオーナメント。この作品では、ご利用者様の、その方々に合った出来る所を活かして生地を型を置きペンでなぞる方、ハサミで裁断する方、針仕事が得意な方など、ご利用者様全員の力を合わせた作品となっております。

月に二回、二人の先生のご指導で陶芸クラブを行っています。
陶芸の作品の工程は
①陶芸用の粘土でお皿や鉢など、好きな形を作る
②窯で焼く(素焼き)
③好きな色を付ける(釉づけ)
④窯で焼く(本焼き)
⑤やすりがけして完成です。
陶芸用の電気窯もあるので工程を全てホームで行っています。自分のペースで作品を作り上げる事ができ、参加しているご利用者様は楽しみながら活動をしています。



アロマテラピー



アロマテラピーによるハンドマッサージを月1回行っています。アロマテラピーとは、植物の香りで心と体を穏やかに整える自然療法で、近年では認知症状を軽減する効果があるとの研究発表もあるようです。Le salon de 沙羅双樹の瓜尾先生方にご協力いただき、心地よい香りに包まれながらマッサージとともにゆったりと会話を楽しむ...そんなひと時となっています。終わった後は「気持ちよかった〜!」と皆さん満足顔!

施設からのお願い

感染症が流行る季節となりました。風邪を引かれている方、小さなお子様や流行性のご病気にかかられている方は、ご面会をお控えいただけますようお願い申し上げます。

編集後記

9月16日に予定しておりました第39回ばらの丘文化祭は台風のために中止となりました。関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。秋もすぎ、一日一日と寒さを感じる季節になってきました。今年一年皆様はどの様な年を過ごされましたか。ご家族皆様で一年を振り返ってみてはいかがでしょうか。ばらの丘通信、今後も分かりやすく情報をお伝えできるように頑張ります。 広報委員一同

事業報告

※平成25年3月末日現在

利用者数 (単位:人)

	ローズヒル	ローズヒルケアセンター	つちやホーム
	特養	通所介護	軽費
男	10	25	16
女	46	62	33
計	56	77	49

利用者平均年齢 (単位:歳)

	ローズヒル	ローズヒルケアセンター	つちやホーム
	特養	通所介護	軽費
男	78.1	87.1	76.75
女	87.2	86.8	86.81
全体	85.9	86.9	83.5
最高齢	99	100	96

介護度分布

	ローズヒル		ローズヒルケアセンター		つちやホーム	
	人	%	人	%	人	%
自立	0	0.0	0	0.0	23	47.0
要支援	0	0.0	10	13.0	12	24.4
要介護1	3	5.4	19	24.7	10	20.4
要介護2	5	10.7	27	35.0	2	4.1
要介護3	10	17.9	13	16.9	2	4.1
要介護4	23	41.0	3	3.9	0	0.0
要介護5	15	25.0	5	6.5	0	0.0
平均介護度	3.8		1.93		0.76	

決算報告

財産目録 平成25年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	金額
I 流動資産	371,676,184
II 固定資産	1,077,824,666
基本財産	783,708,445
その他の固定資産	294,116,221
資産合計	1,449,500,850
III 流動負債	41,236,185
IV 固定負債	38,341,700
負債合計	79,577,885
差引純資産額	1,369,922,965



ローズヒル 本入所待機者状況 介護度別 (単位:人)

介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
	17	27	35	35	17	0	131

ローズヒルケアセンター・高齢者よる相談センター

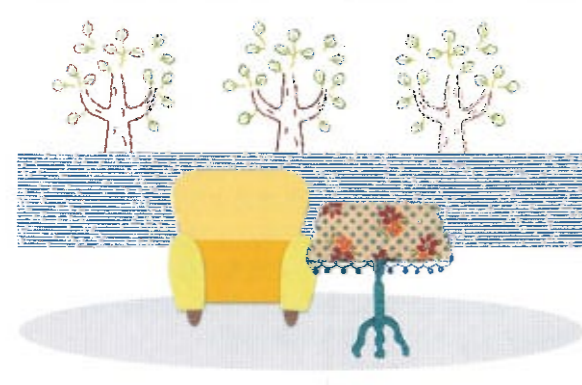
月	通所介護	居宅介護支援	介護予防支援	配食サービス
	延利用者数	ケアプラン作成件数	予防ケアプラン作成件数	延配食数
4	502	121.5	93	558
5	535	117.5	97	555
6	548	126.5	100	613
7	551	126.5	103	608
8	600	126	103	754
9	495	119	101	662
10	565	130.5	101	744
11	536	125	103	703
12	487	130.5	100	649
1	466	119.5	102	644
2	472	124	104	656
3	522	127.5	103	654
計	6,279	1,494	1,210	7,800

事業収支計算書 平成25年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動収入	490,733,258	特別収支差額	-1,807,994
事業活動支出	493,325,177	当期活動収支差額	-4,690,788
事業活動外収入	-2,591,919	前期末繰越活動収支差額	281,809,565
事業活動外支出	1,198,120	当期末繰越活動収支差額	277,118,777
事業活動外収支差額	-1,488,995	基本金取崩額	0
経常収支差額	-2,882,794	基本金組入額	0
特別収入	27,300,000	その他の積立金取崩額	0
特別支出	28,107,994	その他の積立金積立額	0
		次期繰越活動収支差額	277,118,777

貸借対照表 平成25年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	371,676,184	流動負債	41,236,185
現金預金	284,266,364	固定負債	38,341,700
未収金	83,722,333	負債の部合計	79,577,885
短期貸付金	0	基本金	740,003,825
仮払金	3,687,487	国庫補助金等特別積立金	229,522,336
その他の流動資産	0	その他の積立金	123,278,027
固定資産	1,077,824,666	次期繰越活動収支差額	277,118,777
基本財産	783,708,445	純資産の部合計	1,369,922,965
その他の固定資産	294,116,221	負債及び純資産の部合計	1,449,500,850
資産の部合計	1,449,500,850		



介護職員の感染症研修

9月30日にローズヒルでは、感染症の勉強会を行いました。看護師、管理栄養士が講師となり、人の体に付く菌についての知識、自己衛生点検のチェック、プラスチックグローブの使い方、正しい手洗いの方法などを学びました。

手洗い方法では、実際に手洗いチェッカーを塗って手を石鹸で洗ったのちに汚れを見比べると、あまり汚れが落ちていないことがわかり、教わった正しい手洗い方法で手洗いとされいになりました。

職員の知識、考え方、スキルの向上のために、隔月一回勉強会を行って、最近では看取り、水分摂取に関する勉強会を行いました。

ローズヒルスタッフ一同

ボランティア紹介

私たちの日々の生活は、多くのボランティアの方々を支えられています。今回は大庭先生と金目地区のボランティアの皆様をご紹介します。

大庭先生は毎月一回、ローズヒルに連れられアコーディオンを使ってご利用者の皆様に音楽を楽しんでいただいています。懐かしい曲から新しい曲まで皆様と一緒に楽しく歌われています。

金目地区のボランティアの皆様には、ローズヒルのラウンジでご利用者の皆様にコーヒーを出していただいています。ケアセンターでは水曜日、ローズヒルでは土曜日に喫茶という名前でなされています。

ご利用者の皆様と楽しいひと時を過ごしております。



高齢者に多い肺炎 (誤嚥性肺炎)

●誤嚥性肺炎とは？

誤嚥(ごえん)とは、口の中や胃の中のものが入って気管に入ることです。

通常、口から入ったものうち食べ物や飲み物は食道へ、空気は気管へと、上手に振り分けられます。しかし、食道と気管は隣り合っているため、時には誤って食道へ送られるべきものが気管に入ってしまうことがあります。また、寝ている間に、唾液や胃液が少しずつ気管の方へ流れ込むこともあります。

その気管に入ってしまった異物に含まれる細菌が原因で肺炎になることがあります。これを「誤嚥性肺炎」といいます。

●高齢者で起きやすい

異物(口の中の細菌)が気管に入った場合、若い健康な方ならば、咳をして外に出したり、気管の粘膜の繊毛活動で外に排除されます。しかし、高齢者は異物を排除する力が低くなっているため、異物が気管に入ったままになりやすく、さらに抵抗力や免疫力が下がっていることなどもあり、誤嚥性肺炎になりやすいといわれています。また、脳梗塞などの脳血管障害がある場合も誤嚥が起こりやすくなります。

●誤嚥性肺炎を予防するために (高齢者とそのご家族の方へ)

誤嚥性肺炎は、治療して良くなっても、誤嚥を繰り返せば、また起こる可能性があります。誤嚥を防ぎ、また誤嚥しても肺炎にならないよう、以下のような点に注意しておきましょう。また、誤嚥しやすい方は、肺炎の症状がないか日ごろから注意することも大切です。

- 食へ物はよく噛んでゆっくり食べるようにする。
- 異物が気管に入ったら、うつぶせて背中を叩くなどして、できるだけ早く外に出す。
- 歯磨きやうがいをして、口の中をいつも清潔に保つ。
- 長時間横になった状態になると、口の中のものや気管に入りやすくなるため、寝たきりの状態は避け、上体を起こした姿勢をできるだけ保つようにする。
- 「食欲がない」「元気がない」「脱水症状(舌や皮膚が乾いている)」「など、誤嚥性肺炎の症状の特徴がないか、日ごろから注意する。